

コミュニティ・スクールだより

文責 コミュニティ・スクール推進員 正路

コロナ禍において、学校や地域の行事が中止になったり延期になったりしていますが、感染予防対策をしっかりとしながら日々の生活を送るようにしていきましょう。

今回は、小学校の主な歩みと校章の由来、そして、学校に対しての地域の方・保護者の方からいろいろな支援をいただいていますので紹介していきます。

小学校の歩み 校章の由来

明治	6年	博愛館を西条東仏性院に創設 寺家小学成趣館を寺家新宮神社拝殿を借りて創設 成趣館の修業年限を4年とする。
	12年	成趣館を寺家西小学校と改称
	13年	博愛館を西条東小学校と改称
	18年	寺家西小学校を宮迫小学校教場とする 西条東小学校を諏訪小学校教場とする
	20年	寺家簡易小学校・諏訪簡易小学校と改称
	40年	現在地に校舎を建て、2校を合わせて 寺西尋常小学校と改称（義務教育6年）
昭和	16年	寺西国民学校と改称
	22年	寺西小学校と改称
	27年	完全給食実施
	34年	西条町立寺西小学校と改称 藤棚完成
	40年	6コースのプール完成
	46年	校歌制定
	48年	国旗掲揚台完成（創立100周年）
	49年	東広島市立寺西小学校と改称
	51年	現在の東校舎完成
	55年	平岩小学校ができ分離
	58年	現在の西校舎完成
平成	4年	現在の体育館落成 運動場整備
	11年	東校舎改装 第1回わくわく寺西フェスタ開催
	13年	国立教育政策研究所指定評価方法研究校 学校評議員制度スタート
	14年	寺西塾開塾
	16年	平成15・16年度文部科学省指定「国語力向上モデル事業」研究発表会開催（大村はま先生講演） 創作表現『大地の響』誕生
	17年	新プール完成
	22年	北校舎（9教室）完成 4月落成式開催
	29年	第2グラウンド完成
	30年	龍王小学校分離開校
令和	3年	学校運営協議会設置 （コミュニティ・スクールになる）



校章

中国の故事に「晋武好文則梅開 廢學則梅不開（晋の武帝が学問にはげめば梅の花が咲き、学問をやめると開かなかつた）」があります。この故事にちなみ、梅は「好文」といわれ、学問を象徴する木とされています。この梅の花に寺西小学校の「寺」をあしらったものが本校の校章です。校章にちなんで、校歌にも梅が詠われ、校地には梅庭園が設置されています。厳しい冬を耐え、春に美しい花を咲かせる梅庭園の梅のように、寺西小学校児童が**根気強く学問にはげみ、大きく成長し花開いてくれること**を願っています。

環境支援

CS（コミュニティ・スクール）ルームに多くの人が入り出りできるように、仕切りを作ったり後ろにカーテンをつけたりしました。また、岩石園の柵が壊れていたのを、材料を購入して新しく作りました。白のペンキを塗り、組み立てて設置していきました。以前と比べて見違えるようになりました。さらに、運動場で児童たちがくつろげるようにベンチを作りました。長い物と一人でも移動できるように短い物を作りました。児童がベンチで休んでいる姿をよく見かけます。地域の方には、学校の花壇やプランターに植えている花の世話をさせていただいています。



学習支援

6年生の総合的な学習の時間の創作表現「大地の響」で着る法被の修繕を保護者の方にしていただきました。8月6日には、修繕していただいた方をお招きして、感謝の気持ちを込めて「大地の響」の演奏を聴いていただきました。これからも修繕していただいた方にしっかり感謝をして、発表することを願っています。

